

作成日：

科目名		建築特講			
担当教員		木原隆明		実務授業の有無	有
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		2級建築施工管理学科試験に合格するために必要な「建築施工」と「施工管理法」を重点的に勉強します。講義、演習問題を解く、解説を繰り返していきます。			
学習目標 (到達目標)		到達目標は、2級建築施工管理試験の合格基準に達していること。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①やさしい建築施工、 ②2級建築施工管理技士要点テキスト、 ③配布プリント等			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	【建築施工】 1.地盤調査 2.仮設工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
2	3.地業工事 4.土工事 5.鉄筋コンクリート工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
3	6.特殊コンクリート工事 7.鉄骨工事 8.木工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
4	9.防水工事 10.石工事 11.タイル工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
5	12.屋根工事 13.金属工事 14.左官工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
6	15.建具工事 16.塗装工事 17.内装工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
7	18.建設機械と改修・解体工事			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
8	【施工管理法】 1.施工計画 2.工程管理			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
9	3.品質管理 4.安全管理			方法：項目内容の講義後、過去問題を繰り返し行い、問題の出題傾向と内容を理解させる。正解率を把握し理解度を確認 目標到達：問題を理解し合格基準に達している	
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	授業姿勢	出席状況		建設系の国家資格である2級建築施工管理技士学科試験に合格するために必要な知識を学びます。授業だけでなく、間違った練習問題を潰していくという各自の復習も必要になります。	
80 %	10 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築施工管理技術者として15年、建築士として設計部門で15年、技術開発部門で15年勤務			